

■基本設計書 X.データ設計 X.1 項目名付与ルール定義書

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

データ項目名に関して統一感を持たせ、システム全体で不必要な同義語の発生を防ぐため、命名ルールを以下に定義する。

■用語の定義

1. 主要語：管理対象を表す（業務／機能など）

例) 受注、請求、支払、・・・

2. 修飾語：意味内容を説明する

例) コードや名称の種類を表す 商品、取引先、社員、・・・

データの粒度を表す 会社別・部別・部下別、ヘッダ・明細、・・・ など

3. データ種別（必須）：データの属性を表す

例) コード、フラグ、区分、日付、金額、名称、・・・ など

4. 回数：同種のデータを同時に複数使うケースに利用する

例) 明細金額1、明細金額2、・・・

休日1、休日2、・・・ など

■項目名の命名ルール

基本構成

主要語（任意）＋修飾語（任意・複数指定可）＋データ種別（必須） ※ ＋回数（任意）

構成例（いずれの場合もデータ種別は必須）

主要語 ＋ 修飾語 ＋ 修飾語 ＋ データ種別 ※ ＋ 回数主要語 ＋ データ種別 ※ ＋ 修飾語 ＋ 回数主要語 ＋ 修飾語 ＋ データ種別 ※ ＋ 修飾語 ＋ 回数

※データ種別：「データ種別定義書」の「項目名付与時データ種別」を使用する。

例) データ種別定義書：データ種別・会社名 項目名付与時データ種別・名データ項目辞書：データ項目名・取引先名